



Associação Crianças de LUZ

CANOVA

だより72

July
2023

文・写真_鈴木真由美 編集_星久美子・真野由紀 発行_光の子どもの会
Praia do Estevão s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP:62800-000
連絡先: info@criancasdeluz.org

暑い日が続き、熱中症などにも警戒しながらの毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は3年ぶりにブラジルに行ってきました。滞在期間は3週間と短かったのですが、3年ぶりとは思えないほど、我が家に到着すると、掃除をはじめ、洗濯をし、近所の人と立ち話…面白いものですね。ただ大きく変わっていたのは、「カノア保育園」に通ってきている子どもたちの保護者の半分以上が、「カノア保育園卒園生」であったことです。保育園に足を踏み入れると、出会ったことがない子ども達ばかり。それはそうですよね。3年ぶりということは、私が最後にカノア保育園を訪れた時には、まだ生まれていない子ども達がほとんどなのですから…卒園生に囲まれながら話をする保護者会。なんとも新鮮なものでした。



「光の子どもたちの会」の元ボランティアたち

「外国ルーツの子ども支える力に」 元海外協力隊員が なく地域の輪

🔒 有料記事

真田嶺 2023年6月25日 6時00分



2013年、グアテマラの教員養成校で指導する川原翼さん=本人提供



外国にルーツを持ち、日本語を十分に話せないまま日本の学校に入学する子どもが増えている。ブラジルなどにルーツをもつ子どもが多い神奈川県秦野市で、学校と地域が一緒に子どもを支える体制をつくらうと、奔走する教師がいる。

「日本語の支援と同時に、外国にルーツを持つ子どもたちの母語や文化も尊重して守ってあげたい。それが多文化共生だと思う」。そう語るのは市内の公立小学校で教壇に立つ川原翼さん(39)だ。

カノアの元ボランティアでもある川原翼くんが朝日新聞の記事で特集されました！
会員登録をしてぜひ読んでみてください！(会員登録後、1か月間は無料だそうです)

朝日新聞
DIGITAL



カノア保育園の卒業生ヴィヴィアーニと再会！ (報告：星久美子)

今年5月、夫のおばあちゃんに生後6ヵ月の息子を見せるために、ドイツ南部の街、シュトゥットガルトへ行ってきました。私は2009年に大学を半年間休んでカノアで暮らしたのですが、そのときにとっても仲良くなったのがViviちゃん(ヴィヴィアーニ)でした。以前のカノアだよりでも紹介しましたが、Viviちゃんは奨学生としてドイツの大学へ留学し、その後結婚、出産し、今はフライブルクという街で暮らしています。今回、13年ぶりに会うことができました！まさかドイツで再会することになるとは、当時、想像もしていませんでした。

相変わらず、かわいいViviちゃん。5歳と2か月の女の子のママになっても、ちょっとテキトーで、でもしっかり者の性格は変わっていませんでした。自然豊かな郊外のお家に1泊させてもらい、ブラジル料理までご馳走してくれました。翌日には、近くに住むお姉ちゃんのダイアーニも合流！ダイアーニの夫のマーキは元ボランティアで同じ時期に滞在していました。こちらもう久しぶり！ちなみに、Viviちゃんの夫はマーキの同級生！

年中常夏のカノアに比べ、冬はとっても寒いドイツでの生活に苦労しているそうです。凍った道を自転車で滑って転んだとか…！それでも子育てのしやすさや充実した教育制度など、ドイツでの生活の良さを話してくれました。ふるさと恋しいけれど、すでに何度か上の子どもを連れて3人でカノアに旅行に行ったことがあるそうです。今度は日本で会おうねと約束してお別れしました。楽しみにしているよ〜♪

たくましく生きるViviちゃんに元気ももらった旅でした。



左端がViviちゃん、右端がダイアーニ

カノアニュース*Novidade em Canoá

「カノア保育園及び学童教室の活動の継続」していくことが決定し、2023年度はスタートしました。ブラジルでは、エヴァさんをはじめ、イサベルやヴィヴィアーニといった卒園生が中心となり、「Amigo do Crianças de LUZ（光の子どもたちの会の友達）」というプロジェクトを立ち上げ、ブラジル国内外にて資金を調達しようと、動き出しました。私たちとつながりの強いドイツでは、既に元ボランティアが支援したいとエヴァさんやヴィヴィアーニに申し出てくれているそうです。

「持続的な活動をしていくためにはどうしたらよいか？」

エヴァさんは、
3月に2週間カノアに滞在
5月にドイツでカノア保育園卒園生などを訪問
と、精力的に活動をしてきています。



エヴァさんからのメッセージ 2023年6月26日サンパウロ、ブラジル

私の名前はエヴァ・カストロといいます。私のことを知っている人も知らない人もいないかもしれません。私はカノア保育園の創始者の1人です。
私は2023年5月3日～6月17日まで、ドイツに滞在していました。この期間、私の人生で出会った多くの人達、カノア保育園の卒園生も含まれますが、を訪問するため、ドイツ国内の様々な都市を旅しました。行く先々で私は、「Amigo do Crianças de LUZ（光の子どもたちの会の友達）」というプロジェクトを紹介しました。何人かの友人は、個人としてこのプロジェクトを支援していきたいと言ってくれました。約40日間の親愛なる友人たちとのたくさんの会話、話し合い。私は自分のできることをと考え、種をまきました。今、その種から芽が出るかどうか。私は近いうちにその芽が出て、花が咲き、実となることを願っています。一人ひとりが自分のできることをする。それが今、とても大切だと感じています。

日本においても引き続き、日本国内におけるイベントや講演会及び
報告会を積極的に実施していきたいと考えています。
イベントの参加や講師依頼などありましたら、
ぜひ、ご連絡ください！！

【問い合わせ先】

連絡先：光の子どもたちの会 日本事務局

FAX 045-594-5830

E-mail info@criancasdeluz.org

子育て日記より

我が家の娘たちも高校生と大学生になりました。時のたつのは早いものです。私は今年3年ぶりにブラジルに行ったのですが、18年ぶりに1人での渡伯となりました。20代の私。その時と同じ…というわけではないですが、娘たちがそばにいないことに違和感がありつつ、パソコン片手に移動する私はなんともせわしない、キャリアウーマンと化していました（笑）

2人とも語学に興味があり、様々なバックグラウンドを持つ人たちとの関りが面白いと、多くのイベントに積極的に参加しています。しかも長女的美莉亜はスタッフとして。日本とブラジルを行き来し、両方の言語と文化に触れながら育ってきた娘たち。その強みを生かしてこれからどんなことをしていくのか。今から楽しみです。

国内活動＊Atividade no Japão

●アラカチ市の先生が2名、日本にやってきた！ ～JICA草の根技術協力事業より

2022年12月より開始された、「JICA草の根技術協力事業」。今回の事業では、本邦研修として、ブラジル国セアラ州アラカチ市の教員2名が、神奈川県秦野市にて研修をすることが大きな目玉の1つとなっています。

そして今回、アルテミーシアさん（アラカチ市教育委員会教育部長）、ニウデーニさん（アラカチ市教育委員会研修担当）の2名を迎え、2023年5月17日～6月1日まで（日本滞在は5月19～30日まで）、本邦研修が実施されました。

日本の学校教育を、日本の学校を実際に訪れ、体験する。また、現在秦野市で実施している「学びの基盤プロジェクト」や「ICT教育」などを学ぶことで、アラカチ市内の公立学校の教育の質を改善するための材料となればと、秦野市教育委員会が研修の企画、計画、実施すべてを担ってくれました。

「日本でどんなことを学んでほしいのか？」よりも、「日本でどんなことを学びたいのか？」を大切にしたいという、秦野市教育委員会の言葉により、オンライン会議でアラカチ市教育委員会の意向を聞き、それを取り入れた研修内容を実施していただきました。ブラジルの学校教育は今まで3部制だったのですが、全日制学校の動きが高まっています。その中で、授

業時数や時間割を含め、学びの質、教員の質を確保していくためのヒントを得られたと喜んでいました。新しい学校教育の在り方が示されているブラジルにおいて、まずは自分たちが目標としている道が間違っていないこと、そのために何が必要なのか。研修を通じて振り返る機会となったようです。

2023年5月30日。ブラジル大使館を訪問した際に教員レベルの相互交流が実現した意義は大きいと高く評価していただきました。教員2名の報告書（ポルトガル語）は、大使館にも共有され、ブラジル国教育省にも提出されることとなります。

秦野市教育委員会をはじめ、本研修に携わってくださった神奈川県秦野市の皆さん、本当にありがとうございました。秦野市教育委員会が作成した動画を下記に共有させていただきます。

ブラジルから教育関係者2人が視察に来秦 小学校や高橋市長を訪問



ブラジル人の先生たち二人をホームステイ受け入れました～！ 川原翼

私は、ブラジルの2名の先生方が本邦研修を行った秦野市で小学校教員をしております。そこで、研修終盤の週末は我が家で2泊3日のホームステイを受け入れました！

せっかく遠路はるばる日本まで来て頂いたので、できる限りの日本文化を体験してもらおうと、日本食や、着物を体験してもらいました。また、2日目には小田原城を観光案内しました。2人ともどの日本文化にも興味津々でした。すき焼き、焼きそば、定番の焼き魚の朝ごはんなど、典型的な家庭の日本料理を経験してもらい、逆に二人にはブラジルの伝統料理フェジジョンを振る舞ってもらいました。まさに日本とブラジルの食の異文化交流！

うちには5歳と3歳の二人の娘がおりますが、娘たちにとっても、とてもいい経験になりました。長女は最近、世界の国々に興味深々なので、ブラジルがどこにあるのか世界地図で直接教えてもらいました。次女はブラジルダンス(?)の直接レクチャーを受けました。

日本とブラジルの教育の違いや、二人がこの日本研修で感じたことや学んだこと、ブラジルに持ち帰り、ブラジルの教育改革に活かしたいと思っていることなどもたくさん話すことができました。私のサビついたなまくらポルトガル語も、2日目ぐらいに少しずつ勘を取り戻しました。

実は、このプロジェクト、私が2018年の夏にブラジルに現地視察をした際に、鈴木真由美さんにポロっと話したことがきっかけでスタートしたので、もうかれこれ5年越しに実現したのです。途中、コロナもあって、本当にいろいろなことがあって、最後の最後まで実現するか分からなかったのですが、なんとか実現して二人の先生たちに日本の教育を見てもらえて、本当に良かったです!!彼女たちがブラジルに帰って、今回学んだことがちゃんと機能しているかチェックするまでがプロジェクトの一環となります。願わくば、今回、日本で経験したことを活かして、日本の教育の良いところや今回の研修で学んだことを、これからのブラジル教育に活かしてほしいと思います。



国内活動＊Atividade no Japão

●秦野市の外国につながる未就学事業 ～かながわ民際協力基金＞

神奈川県秦野市は、外国につながる小学校就学以後のサポートは充実しており、国際教室、個別指導などを積極的に行っています。一方で、外国につながる子どもやその家族と日頃から関りのある団体や人たちと、秦野市という行政レベルの認識には大きな隔たりがあるように感じました。だからこそ、小学校就学前の未就学の段階において、どのようなサポートが必要であるかを明確にし、外国につながる子どもやその家族が暮らしやすい環境を整えていくことが重要であると考えています。現在、秦野市役所子育て総務課とともに、まずは異文化交流から始めていこうと動き出しています。また、既に日本語教室などを実施している団体を訪問しながら、実態把握に努めています。

JICA草の根技術協力事業の本邦研修で訪れた秦野市立北小学校では、当初把握していたよりも多くのブラジルとつながりのある子どもがいることが判明しました。日本で生まれ、育てている子どもたち。日本語でなんとかやり取りのできる保護者。それでも、実は理解しあえていないことがあるかもしれない。言葉や文化の違いというのは生活に根差したものであるとして存在するのだということを知り、私たちは取り組んでいく必要があります。まずは子どもやその家族の実態を把握し、共に過ごす時間の中から本当に必要な“支援”につなげていきたい。と、強く願っています。

●ブラジル料理教室を開催しました

2月15日(日)

- ・鶏むね肉のチーズ焼き
- ・チョコレートトリュフ(ブリガデイロ)
- ・ココナッツババロアのプルーンソースがけ

今回6歳の息子と一緒に初めて参加させて頂きました。参加者の皆さんは幅広い年齢層で参加の理由もさまざま。いろいろな人と交流するという意味でもとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。おしゃべり大好きな我が子はおしゃべりと食べる事に専念することができ、アットホームでとても素敵な料理教室だと感じました。料理を教えて下さったエレナさんの明るい人柄も魅力で、リピーター(ファン?)が多いのも納得です。

今回はバレンタインという事でブリガデイロというチョコレートトリュフを作りましたが、子どもたちと一緒にベタベタになりながら作るのがとても楽しかったです。(報告: 稲垣由紀)

「ごはん、チョコレートトリュフ、ココナッツババロアがなによりおいしかった。」
佐藤あん(10歳)



「ブリガデイロがおいしかったです。」
鈴木ひな(8歳)

4月23日(日)

- ・タコのオープン焼き
- ・アーモンドのババロア
- ・ご飯、サラダ



リピーターの方のリクエストで、今回はポルトガル料理を取り上げました。タコのオープン焼きは、焼型を参加者で手作りするところから、みんなでチャレンジ。とても美味しく出来上がりました。

いつもの通り、エレナさんの楽しいお話を聞きながら、和気あいあいとした雰囲気の3時間でした。美味しい料理と共に楽しく国際交流できるこの料理教室は、とても貴重な機会です。今後も様々な講師の方をお迎えしながらよりよい時間を作っていけたらと思います。(報告: 梅村祥子)



大好評の「ブラジル料理教室」参加申し込み受付中！

今回の講師は、中津さんのブラジルプチンでお馴染みの、「中津雄春さん」です。お料理だけでなく、ブラジルの簡単な遊びを皆さんと一緒にできればと考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2023年9月10日(日) 14:00～16:00

場所：ライフコミュニティ西馬込 1F調理室

参加費：大人(中高生含む) ¥1,500、小学生 ¥1,000 (乳幼児無料)

定員：20名 メニュー：中津さんのブラジルプチン

参加方法：canoajapao@gmail.comへ「件名：ブラジル料理教室参加希望」と送ってください

活動計算書

2022年 1月 1日 ～ 2022年 12月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	110,000	110,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	1,662,968		
学資支援費	0		
修繕支援金	0		
サッカー支援金	0		
音楽支援金	0	1,662,968	
3. 受取助成金等			
ゆうちょ財団	211,421		
LUSHジャパン	1,113,000		
かながわ民際協力基金	500,000	1,824,421	
4. 事業収益			
イベント収益	71,153		
物品販売	58,572	129,725	
5. その他収益			
受取利息	0	0	
経常収益計			3,727,114
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,377,736		
人件費計	1,377,736		
(2) その他経費			
保育園事業	34,334		
音楽支援事業	0		
施設維持費	9,569		
学資支援費	124,126		
ゆうちょ財団	0		
LUSHジャパン	716,781		
かながわ民際協力基金	192,770		
その他経費計	1,077,580		
事業費計		2,455,316	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
雑費	4,270		
その他経費計	4,270		
管理費計		4,270	
経常費用計			2,459,586
当期正味財産増減額			1,267,528
前期繰越正味財産額			45,864
次期繰越正味財産額			1,313,392

活動予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 光の子どもたちの会

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	250000	250000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	1700000	1700000
3. 受取助成金等		
かながわ民際協力基金	500000	500000
4. 事業収益		
イベント収益	100000	
物品販売	100000	
JICA草の根技術協力事業	4506000	4706000
5. その他収益		
受取利息	10	10
経常収益計		7156010
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	1500000	
人件費計	1500000	
(2) その他経費		
教育支援事業		
保育園及び学童教室食材費	30000	
保育園及び学童教室教材費	30000	
保育園及び学童教室施設維持費	30000	
保育園及び学童教室学資支援費	150000	
青少年支援事業(LUSHジャパン)	504219	
多文化共生事業(かながわ民際協力)	1250830	
国際協力に関連する教育分野の普及	4506000	
原稿・講師謝礼	30000	
会場費	5000	
雑費	5000	
国際交流事業(事業報告会等の実施)		
会場費	5000	
雑費	5000	
国際協力事業(物品販売)		
会場費	5000	
雑費	5000	
支援寄付金	10000	
その他経費計	6571049	
事業費計		8071049
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
雑費	100000	
その他経費計	100000	
管理費計		100000
経常費用計		8171049
当期正味財産増減額		△ 1015039
前期繰越正味財産額		1313392
次期繰越正味財産額		298353

ありがとうございます＊Obrigado

2022年12月21日～2023年5月8日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

「#今できること」として、現地では6月24日にFesta de São Joãoという、伝統的な6月のお祭りを開催しました。保護者を中心に地域の皆様のご協力により、たくさんのご支援を頂きました。

引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

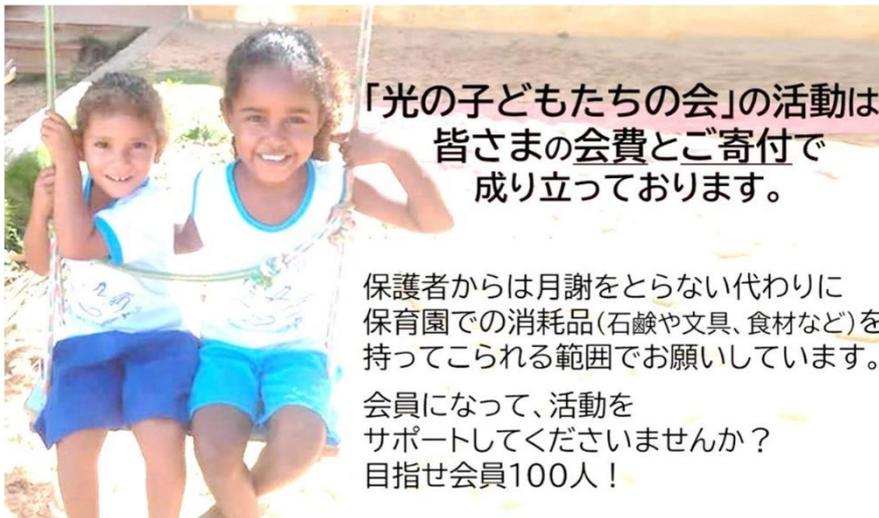
目標会員100名！！

会費及び寄付を頂きました皆様(順不同)

安見清さま、安見道子さま、安藤季子さま、石田泰三さま、石田まどかさま、鶴澤聡明さま、太田朋子さま、諏訪田あつ子さま、瀧川佐和子さま、カ石マルシアさま、長谷川宏さま、馬場悠男さま、福澤郁文さま、藤田枝美さま、藤本くみさま、堀池ミツ子さま

物資支援を頂きました皆様(順不同)

平田ゆいさま、正則高校3年D組（2023年3月卒業）の皆さま



<https://criancasdeluz.stores.jp/>

くわしくは
こちら！



年会費(5,000円)・ご寄付のお振込み方法

1. 自動引き落とし

お持ちの口座の金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行からお振込の場合は以下の【2. 郵便振替】と同じ口座番号ですが、他金機関からの振込の場合には、【3. ゆうちょ銀行振込】の口座番号となりますのでご確認ください。

2. 郵便振替

口座番号 00280-1-41787

加入者 光の子どもたち・カノアの活動を支える会

3. ゆうちょ銀行振込

名義 光の子どもたちの会 店名 ○ニハ(ゼロニハチ)

店番号 928 普通 口座番号 5552594



<http://criancasdeluz.org/inicial/index.jp.html>

問い合わせ先:

代表 鈴木真由美 / 日本事務局 藤田枝美

〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町5338-23

FAX 045-594-5830 info@criancasdeluz.org